

2022年8月4日

GOGEN 株式会社

【2022年8月25日・26日開催】

住宅新報主催の不動産 DX セミナーに当社代表取締役 CEO の和田が登壇

～イタンジ代表 野口氏、弁護士ドットコム取締役 橘氏らとともに不動産 DX のはじめ方について議論～

不動産売買に特化した電子契約サービス「Release（リリース）以下：リリース」を開発・提供する GOGEN 株式会社（本社：東京都渋谷区）の、代表取締役 CEO 和田浩明が、2022年8月25(木)、26日(金)に開催される住宅新報主催セミナー「不動産 DX フェス 2022/Summer」（申込ページ：<https://www.jutaku-s.com/page/id/357>）に登壇します。

不動産DXフェス

2022/Summer

— DXに触れる、学ぶ、考える —

2022年8月25日(木)26日(金) 2日間
リアル&WEB ハイブリットセミナー

電子契約
営業支援
賃貸管理
業務改善

住宅新報 CLOUDSIGN Release 楽楽精算 PropoCloud TRUSTDOCK
ITANDI WealthPark Spacely Speee ReLic

■セミナー開催背景

政府が推進する「デジタル社会の実現」に向けた取り組みの一環として、今年5月に宅建業法の改正がなされ、不動産取引の電子化が解禁されました。これにより、エンドのお客様と不動産会社双方のデジタル化が加速し、不動産業界にも本格的なDX（デジタルトランスフォーメーション）の波がやってきました。とはいえ「DXってなに？」「本当に意味があるの？」「売上につながるの？」といった疑問や不安を抱える方も多いことでしょう。本セミナーでは、国土交通省 不動産産業課 課長・三浦 逸広 氏や誠不動産株式会社 代表・鈴木 誠 氏ら官民の有識者を招聘し、これから不動産DXに取り組む方に向けて、導入ポイントや実例、最新の不動産テック事情について講演いただきます。

■セミナー概要

- ・日時：【1日目】2022年8月25日（木） 13:00～17:00
【2日目】2022年8月26日（金） 13:00～17:00
- ・費用：無料 ※事前申し込みが必要
- ・主催：株式会社住宅新報
- ・詳細、申し込みはこちら：<https://www.jutaku-s.com/page/id/357>

■和田登壇のプログラム

1. 8月25日(木)
セッション：「不動産会社の初めての電子契約」
【登壇者】GOGEN 株式会社 代表取締役 CEO 和田 浩明
2. 8月26日(金)
パネルディスカッション：「やさしい不動産 DX のはじめ方」
【パネリスト】イタンジ株式会社 代表取締役 野口 真平 氏
弁護士ドットコム株式会社 取締役 クラウドサイン事業本部長 橋 大地 氏
GOGEN 株式会社 代表取締役 CEO 和田 浩明
【モデレーター】株式会社 Housmart 代表取締役 針山 昌幸 氏

【代表取締役 CEO 和田 浩明 プロフィール】

新卒で日鉄興和不動産株式会社に入社。分譲・賃貸マンションの用地仕入れ・開発マネジメント・商品企画・販売推進など住宅事業全般を経験。その後、経営企画・CVC 運営・DX 推進・広報などに従事。2021年11月にGOGEN 株式会社を創業し、代表取締役 CEO に就任。

【GOGEN 株式会社について】

社名：GOGEN 株式会社

代表者：和田浩明、佐々木勇人

所在地：東京都渋谷区渋谷 2-19-15 宮益坂ビルディング 609

創業：2022年2月

事業内容：不動産売買のDX 推進／UX 創造に係るサービス等の企画・運営・管理、各種コンサルティング業務

会社 HP：<http://gogen.jp>

【不動産売買特化型の電子契約・契約書管理サービス「Release（リリース）」について】

物件の登録から引き渡しまでの不動産売買にかかる一連の取引フローにおいて発生する契約手続きを実施いただける、不動産売買特化型の電子契約・契約書管理サービスです。電子署名を実施する書類に加え、捺印が不要な書類や、その他取引にかかる書類も、物件・案件ごとに整理して管理・閲覧・ダウンロードが可能です。これまでの契約書作成業務はそのままに、捺印手続きと書類管理をリリースに置き換えて取引業務を推進いただけます。

サービス HP : <https://release.estate>

資料請求フォーム : <https://release.estate/pre>



※本サービスは、契約プラットフォーム事業を展開する 弁護士ドットコム株式会社が提供する電子契約サービス「クラウドサイン」、および SMBC クラウドサイン株式会社が提供する電子契約サービス「SMBC クラウドサイン」との API 連携を通じ、契約書類の電子化を実現しています。リリースの御利用には、別途クラウドサインまたは SMBC クラウドサインの契約が必要となります。